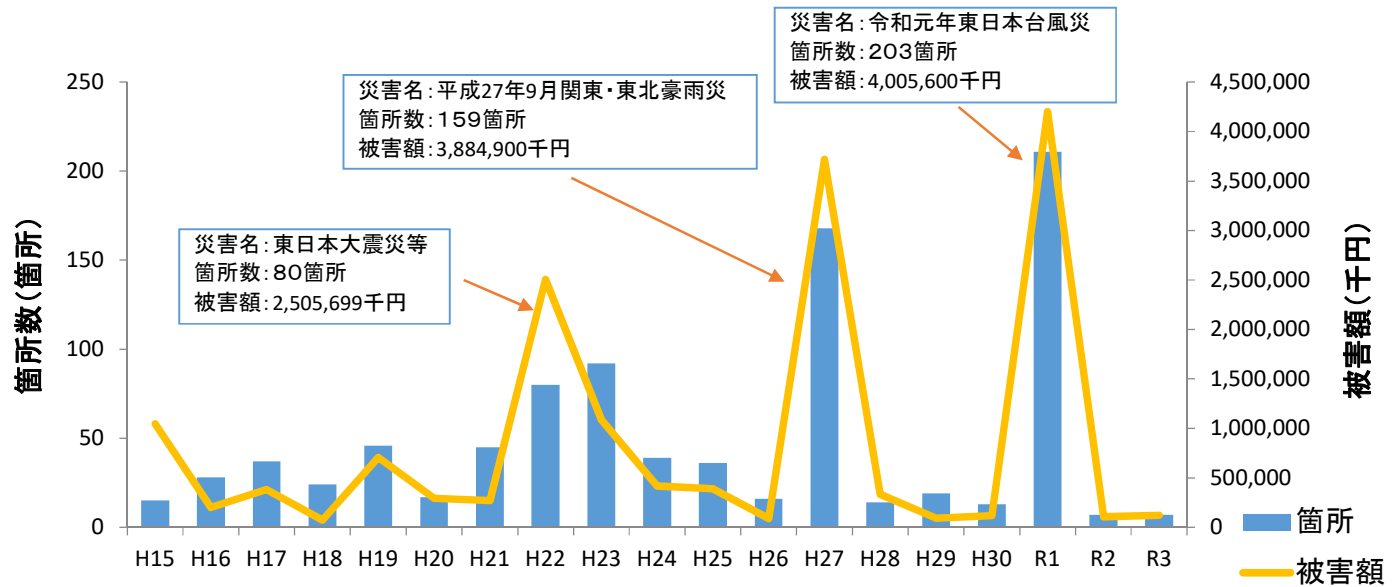


## 栃木県の山地災害発生状況

栃木県は比較的災害の少ない都道府県と言われてきましたが、近年の異常な降雨や大型化する台風により山地災害の発生件数が増えています。最近ではH23年の東日本大震災、H27年の関東・東北豪雨災、R元年の東日本台風災などがあり、5年に1回程度の周期で大きな災害が発生しています。

栃木県の山地災害発生状況(H15～R3年度)

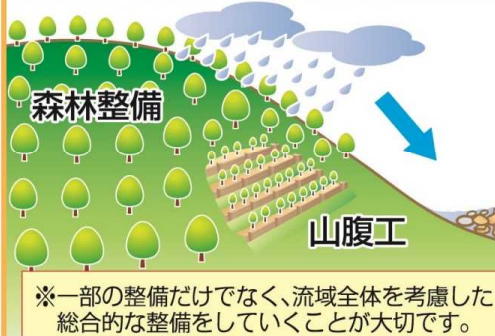


## 山の持つ防災機能を高める治山事業に取り組んでいます

栃木県では、近年多発する山地災害に備え、災害が発生した後の復旧工事だけでなく、山の持つ防災機能を高め災害を未然に防止する予防工事にも力を入れています。  
(写真: 階段状に設置した治山ダム)



### 治山事業の実施



### 治山事業を実施すると?

山の木が根をはり土砂の流出を抑えます。山崩れの箇所は山腹工で土を固定し、木を植えて森林に戻します。谷にたまった土石は治山ダムで固定し土石流を防ぎます。

安全な暮らしを守る

# 災害発生の8つの危険信号を知ろう！



土石流や崖崩れなど山地災害の発生時には、上記のような前兆現象がおきるといわれています。このような信号を見つけたときには直ぐに避難するなど身の安全の確保に努めてください。

## 日頃からの備えが大切です！

### 1 身近にある危険な箇所を確認しよう

各市町のハザードマップやホームページから身近にある危険な場所を確認しておきましょう。

### 2 避難場所・避難経路を調べよう

どこに避難するか、安全な道はどこなのか知っておくことが大切です。家族とどこへ避難するか話し合っておきましょう。また、いざというときの安否確認方法も話し合っておきましょう。

### 3 非常持ち出し品を準備しよう

落ち着いて避難できるように以下の非常持ち出し品を準備しておきましょう。非常持ち出し品は、玄関や寝室の近く(家族みんながわかる場所)に置いておくといでしょう。また、両手が使えるようにリュックサックに入れましょう。

- 飲食料
- 医療品
- 衣類
- ラジオ
- 懐中電灯
- 軍手
- 防災頭巾、ヘルメット等
- 毛布
- 電池
- ライター
- ろうそく
- 缶切
- ナイフ
- 現金
- その他大切な物 など

